

医師

医師は、医師免許取得後に2年以上の臨床研修（病院で実際に診療に携わる研修）を行うことが必修化されている。医師臨床研修指導ガイドラインにおいては、

- ・臨床研修の到達目標として「人間性の尊重」や「医学・医療における倫理性」を定めており、
- ・研修開始後のオリエンテーションにおいて「医療倫理」（人間の尊厳、守秘義務など）を扱うことを求めている。

医師臨床研修指導ガイドライン（抜粋）

I 到達目標

A. 医師としての基本的価値観（プロフェッショナリズム）

3. 人間性の尊重

患者や家族の多様な価値観、感情、知識に配慮し、尊敬の念と思いやりの心を持って接する。

B. 資質・能力

1. 医学・医療における倫理性

- ①人間の尊厳を守り、生命の不可侵性を尊重する。
- ②患者プライバシーに配慮し、守秘義務を果たす。 等

保健師・助産師・看護師

看護師等養成所の運営に関する指導ガイドライン等において、基礎分野の教育の中で、人権意識の普及・高揚を図り、人権の重要性を理解する能力を培うこと等を修得させるよう求めている。

例）看護師等養成所の運営に関する指導ガイドライン（抄）

分野	教育内容	単位	教育目標
基礎分野	科学的思考の基盤 人間と生活・社会の理解	14	「専門基礎分野」及び「専門分野」の基礎となる科目を設定し、併せて、科学的思考力及びコミュニケーション能力を高め、感性を磨き、自由で主体的な判断と行動を促す内容とする。 人間と社会の仕組みを幅広く理解する内容とし、家族論、人間関係論、カウンセリング理論と技法等を含むものとする。 国際化へ対応しうる能力、情報通信技術(ICT)を活用するための基礎的能力を養う内容を含むものとする。 <u>職務の特性に鑑み、人権の重要性について十分理解し、人権意識の普及・高揚を図る内容を含むことが望ましい。</u>

歯科医師

歯科医師は、歯科医師免許取得後に1年以上の臨床研修（臨床研修施設で実際に診療に携わる研修）を行うことが必修化されている。

歯科医師臨床研修において、歯科医師として有する基本的な価値観や資質・能力として到達目標「人間性の尊重」「医学・医療における倫理性」が位置付けられている。

歯科医師臨床研修到達目標（抄）

A. 歯科医師としての基本的価値観（プロフェッショナリズム）

3. 人間性の尊重

患者や家族の多様な価値観、感情、知識に配慮し、尊敬の念と思いやりの心を持って接する。

B. 資質・能力

1. 医学・医療における倫理性

- 診療、研究、教育に関する倫理的な問題を認識し、適切に行動する。
- ① 人間の尊厳を守り、生命の不可侵性を尊重する。
 - ② 患者のプライバシーに配慮し、守秘義務を果たす。 等

その他の医療関係者（臨床検査技師等）

臨床検査技師養成所指導ガイドライン等において、基礎分野の教育の中で、生命倫理及び人の尊厳を幅広く理解する能力を培うこと等を修得させるよう求めている。

例）臨床検査技師養成所指導ガイドライン（抄）

分野	教育内容	単位	教育目標
基礎分野	科学的思考の基盤 人間と生活・社会の理解	14	科学的・論理的思考力を育て、人間性を磨き、自由で主体的な判断と行動を培う。国際化及び情報化社会に幅広く対応できる能力を養う。 被検者との良好な人間関係を構築するため必要なコミュニケーション能力を養う。 <u>生命倫理、人の尊厳</u> を幅広く理解する。臨床検査の対象者の <u>人権尊重</u> とQOL向上さらに地域社会の活性化に寄与できる人材を育成する。